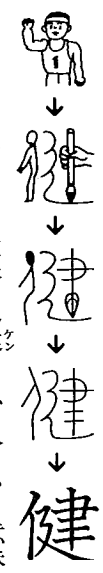


# 健

四年

画数 11  
筆順 一 二 三 肆 伍 健 健 健  
オン ケン  
クシ すこり やか

成り立ち



「家を建てる」という意味の「建」と、人という意味の「人」とを組み合わせて作った字です。

りっぱな家を建てるように、「りっぱな体を作り上げること」を表した字で、「体がりっぱなこと」や「体がじょうぶなこと」です。【例健康、健勝。

むかしは、「体がじょうぶなこと」を「すこやか」と言いました。

また、「元気なこと」「強くいさましいこと」の意味に使います。【例健在、健児。

使い方

▽おとうさんやおかあさんの願いは、子供たちが健やかに幸福に育つてくれることです。

▽ぼくは、小さいころは体が弱かったのですが、運動を始めて、食事でも好き嫌いを言わなくなってから、健康になりました。

熟語例

▽健康 (体がじょうぶで、どこにも悪い所がないこと。)

▽健勝 (健康で、元気なこと。)「健勝のことと、およろこび申し上げます」などと、手紙によく用います。)

▽健在 (元気でくらししていること。元気で活動していること。)

「おとうさんは、健在ですか」などというふう

に、つかいます。)  
▽健児 (元気な若者。)

「高校野球は、全国の健児たちの祭典である」などというふう

に、つかいます。また、特殊な読み方に、「こんでい」という読み方があります。これは、むかしの兵隊の呼び方です。今は、こういう呼び方はしませんが、歴史の教科書などに、出て来ます。)

# 験

四年

画数 18  
筆順 一 二 三 肆 伍 陸 験 験  
オン ケン・ゲン

成り立ち



「験」は、やねの形を表した「人」と「口」と「人」とを組み合わせたもので、「家の中に人が集まって、話し合い、よい意見を「えらぶ」こと」を表した字です。

「験」は、その「験」と「馬」とを組み合わせて作った字で、「多くの馬の中から、よい馬をえらぶこと」を表したものです。よい馬かどうかは、乗って「ためす」ひつようがありますので、「ためす」という意味に使われます。【例試験、実験、体験。

また、「ためしてみても初めてわかる」のは「ききめ」です。すから、「ききめ」という意味にも使われます。【例効験、験。

「験 (年 699) や「験 (年 698) も、「験」のなかまの字です。

使い方

▽試験は、みんなが、勉強したことをどのくらい理解したかをためすためのものです。ですから、試験の前の一夜漬けの勉強は意味がありません。

▽わたしの経験からすると、失敗からも学ぶことはたくさんあります。失敗したからこそわかることがあるのです。失敗をおそれず、いろいろな体験を積むことが大切だと思います。

熟語例

▽試験 (ためすこと。とくに、人の知識や能力をためすことをいいます。広く、一般的に、ものの性質や力などをためすことを「試験」といいます。)

▽実験 (ある理論が正しいかどうか、実際にためしてみることを。)

▽体験 (実際に自分で経験すること。)

▽経験 (実際に、見たり聞いたり行ったりすること。)

▽効験 (ききめ。「この薬は、切り傷に効験がある」などというふう